

Title	農業労働者の組織運動と小作組合
Sub Title	
Author	気賀, 勘重
Publisher	三田学会
Publication year	1913
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.7, No.3 (1913. 7) ,p.481(65)- 502(86)
JaLC DOI	10.14991/001.19130710-0065
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19130710-0065

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

を直覺的に感せずんばあらず、政友會も同志會も共にこの政治的直覺に左右せられて生れ出でたる産物なり。果して然らば比例代表の制度を採用して政黨の組織を益々完備ならしむるは政界の急務にあらざるか、況や比例代表が政界の一大弊害を矯正し得可きに於てをや。我選舉界の腐敗は一回は一回より益々甚しく就中小選舉區に於てはその醜態言語に絶せるものあり、最近の總選舉に於ても、東北の某小選舉區にありては一現金四百圓にて買収せられたるものありとの説あり。然れども洋の東西を問はず、選舉人の腐敗せるものは極めて少數にして、曾て醜聞の甚しき米國コンネチカッド州内市部に就て調査せる處に據るに、平均投票者の一割六分に出でずと云ふ。而も小選舉區に於てはこの一割六分の買収によりて、勝敗の勢を一變し得可きも、大選舉區に於て比例代表制を採用する時は、買収の効力は大に削減せらる可し。コムモンスの如きは無記名投票は買収を困難ならしめ、比例代表は之を無効にらしむと斷せり。選舉の取締に關しては更に他の方面に於て特別の規定を設くるの必要ありと雖も、比例代表の制度にして實行されんか、その取締も亦さまでの困難なからん。余輩は各國に於ける選舉法改正の趨勢に鑑みて、比例代表の實行を主張せんとするものなり。

農業労働者の組織運動と小作組合

氣 賀 勘 重

一

由來農民の團體組織は工業上の團體に後れて發達せり。然かも一度發達の緒に就くや其組織は工業界に於けるよりも遙に迅速に且つ廣く一般に普及せるものあり。蓋し農業上に於ける經營并に生産の方法は一地方各村の間は勿論廣く全國の上より觀るも概ね其軌を一にせるものあり、從て共同の施設に依り相互の利益を促し得可き機會遙に工業上に於けるよりも多大なるものあるは勿論、經營の範圍及び基礎主として各員の耕地の面積に依りて決定せらるゝが故に、同業者間に於ける經濟的競争の餘地少なく、經營上相互の間殆んど全く利益の衝突を觀るとなきの實あり。加ふるに累世相次で定住するを常とせる農村の住民相互の社會的結合は都市人民相互の關係よりも遙に密接なるものあり。是れ農會其他の利益代表團體を初め、共同の施設に依り共同の利益を促進せんとする各種の團

體の近世普く農民社會に波及發達せる所以にして、又其發達の工業上に於けるよりも遙に容易なりし所以なり。

斯る理由よりして農業經營者間に於ける團體組織は何れの邦國に於ても一度其發達の緒に就くと共に急速なる進歩を示すに至れるの狀ありとも、農業労働者の間に於ける組織的運動は之に反し頗る微々として殆んど其形跡をだに示すことなく、工業を初め鑛山業交通業等凡そ大經營の發達せる産業の方面に於て労働者の組織的運動の日に月に益々旺盛に赴きつゝある最近の經濟社會に一大異例を爲せるの觀を呈せり。經濟社會に於ける孤立孤行の不利益一般に認められて一致協力の大功德衆人の渴仰する所と爲り、企業家も労働者も、地主も資本家も等しく聯合合同只管各自の利益を進むるに汲々たる其間に、獨り農業労働者の此大勢に反するの狀ある所以のものは何ぞや。

二

農業労働者の間に一致協力の組織の斯の如く闕如せる其原因は一は云ふ迄もなく其智識の比較的幼稚なるに在り。由來農業労働者は一地方に定住するの常

にして社會文明の風潮に接觸すること都市に於ける工業労働者よりも遙に少なきを免れず。其結果爾餘の労働者に比して一般に保守的の性質を帶ぶると共に經濟上の智識亦等しく幼稚なるを免れず。經濟上に於ける一致協力の實益を認知すること遅々たると共に、其實益を擧ぐるの組織方法に想到せざるも亦自然の勢と云ふ可し。加之、過去幾百年間自然經濟の下に生活して簡素なる生活に慣れたると、外部の社會に接觸する機會少なくて新なる欲望を惹起すの刺戟に接すること少なきとの兩事情は又此種労働者の經濟的智識をして爾餘の移動頻繁なる労働者の智識に劣るに到らしめたるの原因たるなり。

然れど農業労働者の組織運動不振の原因として此經濟的智識の缺乏よりも遙に重大なる原因は此種労働者の所在及び作業場の散在的にして各自の間思想交換の機會少なきこと是なり。蓋し、工業鑛山業等の大經營に在りては多數の労働者一經營の下に集中し、多數人同時に同一の場所に於て操業するの常なると共に、その住居も亦同一地域に多數密集して同地位者の社交的會合の機會甚だ多く、作業場の内外に於ける思想交換頗る容易に行はるゝの狀あり。然るに、農業労働者

の場合、事情全く之に反し、大農の下に多数雇傭せらるゝ場合と雖も、其人員は工業的大經營の場合に比す可くもあらず、多くとも數十人を出でざるを常とするが上に、其作業の場所亦概ね同一ならず、廣く各方面の農場に散在せるものあり、其住宅亦互に遠く隔絶するものあり。従て作業場に於ても將た又作業場外に於ても相互相會して談話を交換するが如き、機會は甚だ少なきを免れざるなり。農業労働者は爾餘の労働者に比して永住的なり、農村に於ける社交的關係は都市に於けるよりも親密なりと云ふと雖も、其住居は同村内數十戸相互間の外、他の同種労働者の住居と著しく隔絶し、其社交的關係又遠く閭門の外に出でず。廣く一地方全般に互りて同種労働者、同地位者の間に意志を通じ、相互の團結と一致的行動を畫するの至難なる以て推想す可きなり。

加之、古き歴史を有する邦國の農村に在りては農業經營者殊に大農と農業労働者との間に親密なる對人的關係の存するものあり。此關係は古來純乎たる經濟的關係を離れて一種の封建的家長政治的性質を帶び、労働者は經濟關係以外種々の方面に於て常に雇主の爲に盡す所あると共に、雇主も亦労働者の庇護に努め、凶

歲不幸其他不時の窮厄に際しては私財を捨て、労働者の生存を確保するの風あり。所謂主従關係にして保守思想家の今尙ほ各種産業の上に擴張普及せしめんことを夢想するもの即ち是なり。或は既に此種の封建的關係の雇者被傭者間に絶滅せる場合と雖も、一農場に於ける労働者の數は工業又は鑛山業の一大經營の下に於ける労働者の如く甚だしく多からず、従て雇主と労働者の關係は單純なる經濟的利益の關係以外に、道德社交其他種々なる非經濟的原因の之を支配するものあり。然れば各労働者の雇主に對する關係は又相互一様なるを得ず、一農場に於ける労働者互に一致團結して以て其雇主に對する態度を定むること既に困難ならざるを得ざるなり。況んや一地方の労働者團結して以て當該地方全部の農場主に對抗するの一事に於てをや。殆んど不可能事と云はざる可らざるなり。

三

事情正に斯くの如しとせば農業上に於ける労働者の一致協力は遂に永久に不可能事なる可きや。

往年の自由主義者の豫想に反して經濟上に於ける個人的自由競争は經濟的協

70
力に其地位を譲れり。經濟的自由の制度は個人的競争を助長せずして團結的組織的風潮を助成し組織運動は輓近の經濟界を風靡するの大勢と爲れり。幾多の同種の企業家は連衡して企業聯合、企業合同を組織し、幾多の同種労働者は聯合して労働組合を組織せり。各地方の商工業者は聯合して商業會議所又は商工會議所を設立し、農業家、鑛業家等亦それ々に利益代表團體を組織せり。而して此等の組織が何れもそれ々の組織當事者を利益せるの事實は漸く一般に認知せられ、組織的風潮は日に益々旺盛を加ふるの風あり。農業労働者果して永く此一般的風潮の圏外に惰眠を貪る可きか。

此組織的風潮は一には大經營の發達の促せる所なりとは云へ、又一には經濟的關係益、社會に重きを加へ來りて漸く社交道德其他の關係を壓し、各企業家間は勿論企業家對労働者間并に各種産業相互間等凡百の經濟關係主として經濟的利益に左右せらるゝに至れること、交通發達し知識普及して各人間思想上の交通密接と爲り集會結社亦甚だ容易なる事に至れること、に基因せずんばならず。果して然りとせば縱令ひ大經營發達の一事の闕如せるあるにせよ、教育の普及と交

通機關の發達とに依り農業労働者の知識亦日に益々進じものなり、雇者被雇者間の關係亦日に益々家長政治的封建的性質を失ひて純經濟的利益に支配せらるゝこと愈々甚だしきを加ふる風潮の廣く各方面の農業地方に現るゝに至れるものあり、労働者各自の所在相隔離せりとは云へ印刷物其他の通信手段の思想的交通を容易にして各種交通機關の大に會合往復を容易ならしむるもの益々發達しつゝあるの今日、又何ぞ永く農業労働者の獨り組織運動の圏外に立ちて工業労働者の反對に出づるを期するを得ん。夙に農業上に於ても亦資本的經營の發達せる米國に於て農業労働者が爾餘の労働者と等しく團體を組織して労働組合に加入せるは去ることながら、小農國として古き歴史を有する伊太利の農業界にも亦一種の農業労働組合の發達せるを聞くに至る。蓋し必然の勢と云ふ可きなり。

四

伊人、リヰオ、マルケッチ氏は ツァイトシュリフト、フューア、ソチヤルイツセンヤフト 社會學雜誌 一九一一年六月號以下に於

71
て伊國農業労働者の組織運動を序し、更に最近の同誌上に於て同國最近農業の特色たる小作組合の實狀を序述せり。其所説に據れば同國にては一九〇〇年の頃

以來改良團なる一種の農業的労働組合の各地に著しく發達せるに至れるものあり。固と同地位者の一致協力に依りて雇主に對する自家の地位を鞏固ならしめ、兼て各員共同の利益を進むるを目的とせること恰も工業上の労働組合の如くなるものなりしが、此團體の活動は爾來百尺竿頭更に一步を進め、「ロンバルヂヤ」「エミリヤ」「ロマニヤ」「シ、リヤ」等の主要なる農業地方に於ては遂に所謂小作組合なる特殊の組織を生じて世界の農業組織上一異彩を放つに至れり。

此小作組合なるものは一地方多數の農業労働者一致團結して組合を組織し、共同的に地主に對して小作條件を決定するものにして、工業上の労働組合の勞銀に關する團體契約と全く其性質を等うせり。即ち當今に於ては農業上に於ける労働者の團體の最も發達せるものと云ふ可きなり。而して伊國に於て此團體の發達を促せる原因は首に經濟上の理由のみに止まらず、社會主義の思想并に基督舊教派の思想の感化も亦與りて大に力ありと云ふ。

由來、同國の労働組合は社會主義の思想に依り醸成せられたるものにて、農業労働者の團體も亦其範に漏れず、等しく何れも社會黨の鼓吹誘導に出でたるの實あり。

果して然りとせば、農業上に於て此種の團體の主眼とす可きは寧ろ共有の土地を得て共同經濟的に之を經營するに在らざるを得ず。現に「エンゲルス」「カウツキー」「ヘルツカ」等近世社會主義の先覺者の理想とせる農業經營は正に此に存し、又熱心なる社會主義者中には斯る共同的經營を實際に試みたる者すら存せざるに非ず。露國の「ミール」又は獨逸の「アルメンド」の如き共有地を設け、之が經營に最近の進歩せる技術を適用して共同經濟の組合員の經濟的利益を促進せんとは實に社會主義者の理想とし目的とする所たるなるなり。然るに伊國に於ける小作組合は其目的の等しく此に在るに拘らず、單に共同的に土地を小作するのみにて其所有權を有するに非ず。所有權に關しては全く個人主義に基ける現制度を認むるが上に、社會主義者の認めて以て最も有害なる所有權の濫用と爲せる小作の制度に準據し、僅に其經營に於て共同的企業の原則を採用したるに過ぎず。蓋し、爾餘幾多の制度と等しく理論上より理想的に設定せるものに非ずして、歴史的發達に基づける實際の必要に應じたるの結果に外ならざるなり。

社會主義の運動が斯の如く現經濟制度に適應するの舉に出でたるは社會主義

本来の原則に照して一見奇異の観なきに非ずと雖も併し此小作組合の行動が地主と農業労働者の嫉視反目最も激烈なる一部の地方に於て恰も土地所有權の剝奪に進むの一階段たるが如き實情を示せるより觀れば一見自家撞着の觀ある此組織は實際上決して自家撞着に非ざるを見る可し。其理由他なし。此種の團體が益勢力を加へ來りて地主に支拂ふ可き其小作料を益減少せしめ地主をして土地に對する租税其他の公共的負擔の外復た剩す所なきに到らしめば是れ正に事實上に於て農業經營上労働者の團體をして從來の土地所有者に代はらしむるに至れるものなればなり。然り而して農業労働者の團體の勢力旺盛なるロマニヤ其他の一部地方に於ては労働者は公々然斯る目的の下に行動しつゝあるの狀あり。即ち斯る地方に於ては小作組合は恰も有力なる労働組合が企業家に對して組合以外の労働者を使用せざるの契約を要求すると等しく其地方一切の地主に對して組合以外に土地を小作せしめざる可きとを強請するの風あり。而して地主若し之に應せざらんか當該地方全部の労働者を包容せる労働組合は其地主に對して斷然同盟罷業の態度に出で地主をして土地經營上全く施すの策なきに至らしむ。

故に其地主にして他の地方より充分の労働者を容易に雇傭するの途なきに於ては全然労働者の要求に屈服せざるを得ず。然かも農業労働者の常として工業労働者の如く移動容易ならざるものあるが故に地主が他の労働者を雇傭するは一般に工業的企業家よりも遙に困難なるを免れざるなり。

社會主義的労働者の團體の勢力旺盛なる地方に於ては小作組合は斯の如く労働者階級の爲に土地の所有權を奪取するの一階段たらんとするの風ありと雖も爾餘多數の地方に於ては社會主義的の團體も亦未だ斯の如く極端なる方針に出でず組合員の共同的行動を訓練して共同的に各自の經濟的利益を進むるを主眼とすること一般の産業組合に等しきものあり。従て其終局の目的の共同生産に在るに係らず實際の結果は産業組合其他一般の組織的行動に必要な訓練と責任の精神とを促進するに外ならざるなり。

次に又基督舊教一派の鼓吹誘導に出でたる小作組合は社會主義的の組合の如く現經濟制度を改革せんとするが如き遠大の目的を有せず。唯此組織に依りて以て日給労働者の窮境を救ひ基督教的民主主義の原則に基きて此等の労働者を

ば獨立なる小農業家の地位に進ましめんとするに外ならず。勿論斯る宗教的施設の常として之を宗教宣布の手段に利用せんとするの一事も亦其目的の一たること疑なしと雖も、經濟上より觀れば其目的は經濟上不獨立なる日給労働者を解放して其經濟的獨立を確保せしめ、其幸福を増進せんとする單純なる社會改良策に外ならざるなり。

五

伊國に於ける農業労働者の團體并に小作組合は斯の如く二種の思想に醸成されたりと云ふと雖も、斯る實際上の組織は單に一定の思想のみに依りて廣く社會に行はるゝに至るものに非ず。廣く各地方に行はるゝに至れるは之に伴ふ幾多の實際的利益の之が發達の原因を爲すものあればなり。

此點より觀れば、伊國の農業界には特に斯る團體殊に小作組合に伴ふ一大利益の存するものあり。同國各地方に其數少なからざる大地主の小作制度即ち是なり。即ち同國にては農業の經營は小經營を主とすれども、大地主の數は決して少なからず。幾多の個人の過大なる農業地を所有するものあると共に、又市町村其

他の自治團體并に各種法人の非常に廣大なる耕地を所有するものあり。然るに此等の大地主は其土地を小作せしむるに當り、多數の小經營者に分割小作せしむるの繁を厭ひ、各自其所有地を一人乃至數人の大小作人に之を賃貸し、其大小作人は更に之を小分して直接の農業經營者たる小小作人に再賃貸するの風あり。地主は之が爲に多數の小作人より一々小作料を取立つるの繁を免る可しと雖も、其享得する小作料額は爲に甚だ縮少されざるを得ず。大小作人は之に反して單に地主と小小作人の間に立ち、其間を媒介するの勞を取るに過ぎざるに、然るに此勞に對して小小作人より徴收する媒介料は其額甚だ大なるものあり。畢竟小小作人は支拂能力薄弱にして正確に小作料を納入する能はざる場合少からざるが故に、大地主は之と直接交渉するを厭ひて小作料は少額なるも其納入正確なる大小作人を選び、小小作人は自ら大農場全部を賃借するの資力なきが爲に止むを得ず價の小作料を拂ひて大小作人より賃借するに外ならざれども、之が爲に小小作人高の蒙る經濟的損失は甚だ少なからざるなり。

是に於てか小作組合は此中間小作人に代りて其任を果たし、不必要なる此中間

介入者を排斥せんとするの目的を以て組織せらるゝに至る。即ち此小作組合は組合員の連帯責任を以て地主に對して小作料の納入を保證し、大小作人と同一若しくは多少大なる小作料を正確に地主に納入すると共に、組合員たる小小作人に對しては從來大小作人に歸せる利益の殆ど全部を享得するを得せしむるなり。小借地人の爲に受る利益の少なからざる又知る可し。

六

併し、小作組合の賛成者は此大小作人淘汰の利益の外更に第二の利益として該組合が労働者失業の苦痛を少なからしむるの利益あるを説くの風あり。農業の經營法の略一定せる以上、組合に於て徒に多數の労働者を使役せざる限り斯る結果を期待するは不可能なるが如しと雖も、翻て之を觀れば、農業の經營法は必ずしも正確に一定せるものに非ず。従て小作組合の斯る結果も亦全く之を望む可らざるものに非ざるなり。

即ち土地所有者其他の土地經營者が労働者を雇傭する場合には分益其他種々の刺戟手段に訴へて少數の労働者を過度に使役することもある可く、又一定數以

上の労働者を使用して一層集約的の經營を爲すも僅に勞銀相當の増收の外復た多く得る所なきが如き場合には、労働者雇傭使役の繁を厭うて比較的粗放なる經營法を取り労働者の數を少なからしむることもある可しと雖も、労働者を組合員として其利益促進を主眼とする小作組合の經營は、斯る場合に際しては勉めて多數の労働者を體力相當の適度に使用し、又經濟的損失の生ぜざる限り可及的集約的なる經營法を取りて可及的多數の労働者に職を與ふるの途に出づ可く、従て労働の機會を増加し失業者を減少するの效果ある可きなり。

加之耕作す可き農産物は同一地に於ても必ずしも一定せるものに非ず。世間大多數の土地は種々の耕作に適するの實あると共に、作物の種類如何に依りて之に要する労働者の數に多少の相違を生ずるものあり。例之ば葡萄の栽培は陸稻よりも多數の労働者を要し、陸稻の栽培は牧草の播種よりも多量の労働者を必要とするが如し。故に小作組合は此點に於ても又可及的多數の労働者を要する作物を選びて労働者失業の憂を減殺するを得可し。

之と等しく機械使用の利益割合に少きを常とする農業の經營に在りては機械

を利用して労働者を節するも機械に代へて労働者を使用するも經濟上の損益甚しく軒輊せざるが如き場合決して少なからず。斯る場合に於ては個人的の農業經營者は労働者使役の繁を避けて機械を利用すること少なからずと雖も、小作組合は機械に代ふるに労働者を以てして多數の組合員に職を授くるを得可きなり。其他斯の如く労働の機會を増すものに非ざるも然かも尙ほ労働者失業の苦痛を多少減殺するの手段として、小作組合の取り得可き手段は組合内部に於ける労働の機會并に他の農業經營者の雇傭に基く労働の機會を一括して、之を當該地方全部の農業労働者に均分し、依て以て就職の機會の缺乏に出づる所得の不足を組合員全般に均分負擔せしむるに在り。是れ此種の組合を外にしては、縦令ひ如何なる慈善的好意的の雇主と雖も之を實行し得可らざる所なり。若し個人的農業者にして強ひて斯る方策を行はんか頻々其労働者を交替して爲に多大の經濟損失を蒙らざるを得ざる可し。

七

次に農業經營の上より觀れば此種の組合的結合は又組合員をして經營に必要

なる資金の融通其他の點に關し、各種の産業組合に等しき利益を享受するを得せしむるの長所あり。伊國當今の實情より觀れば、小作組合は概ね自ら直接に資金を借入れて組合員に資するの途を取ることなしと雖も、組合員の耕作に必要な資金を調達するの策として、農業的信用組合と聯絡を保ち、組合員の爲に必要な資金借入の途を開けるの實あり。又共同的に其農産物を販賣して中間小商人の爲に乗せらるゝを防ぎ、共同的の葡萄酒醸造所乳精製造所等を設けて組合的生産の途を開き、共同的の作業場其他の建築物を設け、共同的に機械を利用し、共同的の購入を爲す等、一般の農業的産業組合と等しき施設に依り大經營特有の利益の、一大部分を此等の小農民に普及せしむるものあるを見る。蓋し又第三に擧ぐ可き小作組合の利益と云ふ可し。

八

其他、小作組合は一種の労働組合として其組合員の勞銀引上の策たるを得るものあり。組合自ら小作農業の經營者として立ち、組合員を使役して經營する場合即ち是なり。此場合に於ては組合は其經營が相當の収益を擧げ得るの實あるに

際し、普通の個人的農業經營者よりも多大の勞銀を其勞働者に支給するを得可し。蓋し個人的經營者は自家の利潤を擧ぐるに努めざる可らざるも、小作組合は此利潤を空うして勞銀を引上るを得可ければなり。幾多の小作組合が農業上の同盟、罷業の後を受け、舊來の經營者に代るの經營者として設立さるゝに至りしは少なくとも此組合に斯る利益あるを認めたるの結果に外ならざるなり。

九

伊國に於ける小作組合は實に此等四種の利益の全部乃至二三を直接の目的として組織されたるものなり。組織成立の指導は實に社會主義者并に基督舊教に在りしと雖も、其發達の主たる原動力が此種の經濟的利益に在りしより觀れば其本源は社會主義又は羅馬教と云ふが如き政治的社會的并に宗教的の社會觀に存するものに非ずして、土地經營上の必要と當該地方傳來の農業の情態とに胚胎せる歴史的發達の産物と稱す可きものなり。而して斯の如く當該地方種々の事情に胚胎せる實際的現象の常として此小作組合の種類は又甚だ雜多なるものあるを見る。

即ち一方に於ては小作組合は連帶以て地主と小作契約を締結し且つ之を履行するに止まり、其賃借せる土地は小分して之を組合各員に割當て各員の自由經營に委するものあり。此場合に於ては組合は大小作人に代りて地主と眞の小作人とを媒介するに過ぎず。組合員は中間媒介者の爲に利益を吸収されざるの外舊來の小作人と殆んど選む所なきものなるも、又他の一方に於ては小作組合は之と正反對に一種の共產團體たるの性質を有し、常に共同的に小作契約を締結するのみならず、土地の管理經營の局に當り、原料器具機械の購入は勿論耕作の實行及び生産物の販賣をも自ら引受け、其經營より生せる利潤を組合員に分配するの職を取るものあり。斯る場合に於ては組合員は全然其獨立を失ひ組合の指揮者の下に勞働する一種の勞働者と爲るなり。蓋し社會主義の理想に最も近き組織にして同主義者の熱心奨励する所なるも、此組織には爾餘幾多の社會主義的計畫に通有なる幾多の困難の等しく隨伴するものあるが爲に現時の人類社會に於ては其普及發達頗る困難なるを免れざるの觀あり。

そは兎に角、小作組合は此等二種の極端なる組織の間に位して其組織は種々雜

多なるものあり。其間に共通なる一點は地主に對し連帶責任を以て小作契約を締結し且つ之が履行を保證し組合自ら小作料を蒐集して之を地主に收むるの一事あるのみ。然れど大多數の組合は小作料蒐集と地主に對する其保證に當るの外に尙ほ通例種子肥料機械等の共同購入經營資金融通の斡旋等に任ずるの風あり。而して此等普通の産業組合的施設の外更に社會主義的計畫の方針に向て其歩を進めたるものは其數多からずと雖も然かも土地所有權を認めて之を小作すると云ふ一事の外殆ど全く共產主義的なる組合に至るまで何れも多少其例を見ざるなきなり。

+

以上述ぶる所に由りて之を觀れば十九世紀以來の大勢たる労働者の組織運動は又遂に久しく其圏外に立てる農業労働者をも其渦中に吸收するに至れるを知る可し。殊に伊太利の如く其文明の頗る古き小農的經營の邦國に於て此運動の發達せるは頗る注意す可き現象と云はざる可らず。勿論伊國の此運動は同國の農業界特有の事實に負ふ所甚だ多しと雖も審に其原因を推敲すれば過大農場に

於て中間小作人介在せるの一事を除くの外爾餘の原因は何れの邦國にも多少其實を存せざるなし。而して此中間小作人の介在が小作組合發生の唯一の原因に非ざるは此種小作人の存在せざる地方に於ても亦小作組合の發達せる事實に徴するも明なる可し。果して然りとせば爾餘諸國の農業界も決して此種の運動の發生必無なりと云ふを得ざるべし。

惟ふに組織的運動は最近世界の趨勢なり。農業經營者は勿論農業労働者の間にも亦産業組合其他の組織は既に各國に多少の發達の認め得可きものあり。唯地主雇主に對する農業労働者の對抗的組織は之を觀ること頗る少なしと雖も是れ畢竟農業労働に此種組織の必要なきが故に非ずして前述せるが如き原因の之を妨ぐるものありしが故のみ。然るに此原因は交通機關の發達と智識教育の普及とに依りて日に益々除却されつゝあるの實あり。社會一般の生活程度の上進は農業經營者を驅りて益々經濟的利益に重きを置くに至らしめ農業上に於ける雇主と労働者の關係をして益々經濟的關係たらしむるものあり。農業上に於ける労働關係の此變化と農民の自覺とは農業労働者の組織運動の一進境を致さしめざる

を得ざる可し。

殊に農業上に於ては各人間利益の衝突少なく、經營の方法概ね相類して同地位者間の結合容易なるものあり。従て組織運動の一度社會の一隅に發生するや、容易に爾餘の方面に波及すること遙に工業界の組織に勝り、其團結亦遙に鞏固なるの傾あるは既に前に述べたる所の如し。伊國に於ける農業労働者の運動が一度其端を發するや、數年にして顯著なる發達を爲せると共に、工業上に於ける労働組合と等しき單純なる労働組合より更に一轉して一部の共同經營を事とせる小作組合に發展せるが如き又正に這般の消息を傳ふるものならざらんや。吾人は決して之を對岸の火災視するを得ざるなり。

近世資本主義と地代説

(ゾムバルト教授の資本主義起源説に對する史的批判)

阿部 秀 助

目次

- 一、ゾムバルト教授の性行
- 二、近世資本主義論の梗概
- 三、經濟學上の諸概念と資本主義
- 四、近世資本主義と其起源説
- 五、地代説と其反證
- 六、結論

滯歐二箇年其間殊に深き印象を受けしを、ゾムバルト教授となす、氏が直截にして明快なる講義は單に獨逸經濟學界の珍たるのみならず、寧ろ同國學界に於ける稀有の産物たり、氏の父は米國流の所謂、Self made manにして身を貧困の間に起し